

なんじゃもんじゃ地域版

上対馬病院基本理念

地域の健康な生活を守る使命の達成のため
職員ひとりひとりが自覚と責任を持ち
心のふれあいのある
患者様の側に立った医療の実践を行なう

発行:上対馬病院地域連携室・広報部 ホームページ <http://www.kamibyoo.jp>

「内視鏡検査、受けたことありますか？」

上対馬病院 内科 森 源喜

こんにちは、今年の4月から上対馬病院に赴任した内科の森源喜と申します。一昨年まで対馬いづはら病院で勤務していたので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません。上対馬のみなさんのお力になれるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

さて、みなさんは内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）を受けたことがありますか？「苦しい、痛い」といったイメージのため内視鏡検査を敬遠している方も多いと思います。また、「別に何の症状もないから」といって検査を受けていない方もいるでしょう。実は、ここに大きな落とし穴があります。内視鏡検査の主な目的は食道癌、胃癌、大腸癌を見つけることですが、これらの癌は小さいうちにはほとんど自覚症状がありません。癌を早期発見するには「定期的に」「症状がなくても」検査を受ける必要があります。また、最近では内視鏡技術の進歩により、早期発見できた癌の多くは内視鏡で切除し、治すことができます。手術でお腹を開けなくても治すことができる時代になってきています。

昨年の一年間、私は東京にある国立がん研究センター中央病院の消化管内視鏡科で内視鏡診断・治療の勉強をしてきました。日本有数の診療実績を誇る病院で、最近よく見かける「病院ランキング本」などでは常にトップの評価を受けています。そこで習得した最先端の技術を上対馬のみなさんに提供したいと思います。

まず、内視鏡検査に伴う苦痛ですが、これは医者の方の技術に加え、麻酔薬の注射を併用することでかなり楽に検査を受けることができるようになります。もし、以前に内視鏡検査を受けた時に苦しかったという方は検査の予約時に教えて下さい。また、小さい癌を見つけられるかどうかは医者の方の経験が必要です。この点に関しても、東京の病院で多くの癌を診断・治療してきましたので、安心して検査を受けて下さい。

内視鏡検査に興味がある方は是非病院にいらして下さい。一度も内視鏡を受けたことがない方、しばらく内視鏡を受けてない方には特にお勧めします。「患者さまに優しく、見逃しのない内視鏡検査」でみなさんのお役に立てるかと思ひます。



なんじゃ

ジメジメした梅雨がやってきます。毎年この時期の集中豪雨で大変な思いをされる方も少なくないでしょう。今年は大きな被害が出ないと良いですね。

地域版編集長 早田 裕美